

Back Number

本論文は

世界経済評論 2023 年 3/4 月号

(2023 年 3 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料
OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー 読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

ステークホルダー資本主義 ：世界経済フォーラムが説く、 80億人の希望の未来

ITI 客員研究員・放送大学客員教授 朽木 昭文



【著者】 Klaus Schwab (クラウス・シュワブ)
世界経済フォーラム会長
ピーター・バナム

【発行】 日経ナショナル ジオグラフィック社、
2022年8月

【判型】 四六判, 400ページ

【定価】 本体 2,400円+税

習近平氏による「国家資本主義」は、大きな経済発展をもたらしたが、「不平等」や「環境」などの課題を生み出した。シカゴ大学教授でノーベル経済学を受賞したミルトン・フリードマンが打ち出した「株主資本主義」も同じ課題を生んだ。国家資本主義においては政府が過大な権力を振るうようになる。株主資本主義では、株主というステークホルダーの利害がその他のすべてのリーダーよりも優先する資本主義の形態である。

本書が提唱するのは、第3のシステムである「ステークホルダー資本主義」である。本書のステークホルダー資本主義では、システムの利害関係（ステーク）の主体が、グローバルに

なったという。4つのステークホルダーは、次の主要目的がある。つまり、企業は利益を追求し、長期的な価値創造を目指す。市民社会は各組織の目的または使命を推進する。政府は公正な繁栄を追求する。国際社会は平和に向けて取り組む。

「ステークホルダー資本主義指標」が、発表され、ESG（環境・社会・企業統治）目標に対する企業の進捗状況を測定し数値で示す。具体的な4つの柱の指標を例示すると、「ガバナンスの原則」の柱の指標では、取締役会の構成、腐敗行為防止の取り組みなどである。他に、「地球」、「人」、「繁栄」という柱がある。

本書の特長は、ステークホルダー資本主義が正当性を得た根拠を歴史的にかつ論理的に説明する第1部と第2部にある。第1部で、第2次世界大戦後の世界経済の成長の歴史を振り返り、3つの「クズネッツの呪い」を世界への警告として示す。それは、GDPの低下、不平等、環境である。

この例として、アジアにおける中国の経済成長を深圳「経済特区」モデルにより説明する。アジアのインドもASEANもこのモデルにより成長した。しかし、その結果として地球規模で不平等と環境の課題が残る。

第2部で発展と課題をもたらした要因を説明する。その要因は、貿易・投資の自由化によるグローバル化、また産業革命などのテクノロジーによる経済成長である。しかし、その結果として放置できない気候変動などの環境が、解決されていない課題として残った。

著者の信念は、「地球の課題を解決するには人々が協力すること」とある。2022年だけでも地球に深刻なヨーロッパの熱波、パキスタンの洪水、フロリダのハリケーンなどが多発した。「ステークホルダー資本主義」は地球を救うことができる。人類の救済への道が本書の精読から始まると確信する。

(くちき あきふみ)